

# ココペリの森のスヌーズレンというお部屋・・・？

## スヌーズレン(Snoezelen)について

スヌーズレンとは心地よい感覚刺激（光、音楽、触感、香り、視覚、聴覚、触覚）などへの刺激を感じられ、リラックス出来る環境で障がい（児）者自身が自分で選択し、自分自身の時間を持つこと。そして援助者はそれに寄り添い、互いの感じ方や喜びを共有する。もともとは、重度の知的障がいを持つ人々とのかかわりの理念として、1970年代にオランダの知的障がい者施設で障がい者の心のケアとして考案されたもの。ですが、スヌーズレンは、治療法でも、教育法でもありません。

どんな人でも、ありのままの自分が受け止められ、自分で選び、自分のペースで楽しむための、人生の大切な時間がテーマになります。その大切な感覚を共有・共感する空間作り。今では、知的障がいを持つ人々の分野だけではなく、様々な分野へと広がっています。ココペリの森では、クールダウンのお部屋としても大活躍です。



\*忙しい日常から離れた、有意義で贅沢なくつろぎの時間をどうぞ楽しんでください。



## ★ココペリの森スタッフの想い



\*ママと子どもが触れ合いながら過ごす空間作り

\*言葉ではない親子のコミュニケーションを深めること

\*育てる喜び・不安を人と分かち合える環境・・・などなど

しかし、誰もがくつろげやすい空間を作り出す スヌーズレンと言われていますが、暗い空間が怖くて泣き出す子も・・・でも、でも、それもOK! です。

大事なものは、ママに抱きしめられて泣くこと。そして周りの人に見守られること。

その温もりが、人生のいろんな場面で支え

糧となってくれるはずですよ。

言葉や理屈では説明できない、目に見えない大きなものに守られる感覚。

この記憶は、大人たちが子どもたちへ、ママから子へ最高の贈り物✕になると思います。そんな想いを込めた特別な空間・贅沢な時間を味わって欲しいですね。